

科目名	栄養学	対象学年・時期	1年・後期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・15時間
授業概要	生物にとって栄養を摂ることは、生命維持に不可欠である。現代の人間の食事形態は多岐に及び、人々の健康や食生活に対する関心も大きい。一方で、健康を増進する内容の情報が多々ある中で、健康を損ねるものも少なくない。対象者が健康な生活を送るために正しい情報を選択、サポートすることが看護者の役割とも言える。すなわち、栄養学を学ぶことは、対象者の病態や栄養状態を改善し、疾病の予防や治療、増悪・再発防止、健康増進としての支援に繋がることを意味する。発達段階や健康障害に応じた望ましい栄養摂取量の考え方、あらゆる生活の場での栄養摂取の在り方を学び、日常生活においての健康的な食事のサポートができるための看護について学ぶ。		
授業形態	講義（演習を含む）		
学習目標	1．人間の健康と栄養について理解できる 2．食生活や栄養状態の現状を理解できる 3．食物を栄養素レベルで理解できる 4．ライフステージに合わせた適切な栄養管理について理解する		
授業計画	1．人間栄養学と看護 2．栄養素の種類とはたらき 3．食物の消化と栄養素の吸収・代謝 4．体内のエネルギーバランス 5．食品と食事 6．栄養ケア・マネジメント 7．ライフステージと栄養		
使用テキスト	系統看護学講座 専門基礎 栄養学 人体の構造と機能 3 第14版 中村丁次 著 医学書院		
事前学習・事後学習	事前学習を基本とし、授業計画に示した箇所を読んでおく。また、随時資料を配布する。		
評価基準と評価方法	筆記試験で評価する		
備考	予習・復習を欠かさず行うこと。		

